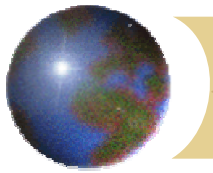


Medical Research Council (MRC) の仕組みとPOの役割

厚生労働省大臣官房厚生科学課 科学技術調整官 眞鍋 馨

平成17年1月20日

第2回 プログラムオフィサー国内セミナー



研修日程・主な訪問先

（研修日程）

11月 8日～11月19日（2週間）

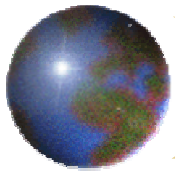
（主な訪問先）

Engineering & Physical Science Research Council
(EPSRC)

Medical Research Council (MRC)

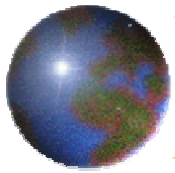
Cambridge 大学

Department of Health 等



英国Research Councilについて

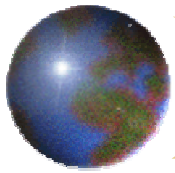
- ✦ Research Councils (RCs) は非政府組織で、Royal Charter によって設立された公的機関。
- ✦ 政府の予算を受けて、研究費を配分している。
- ✦ 各Councilは科学的に優れた研究 (Excellent Research) を支援する。科学的な内容については政府から独立 (Scientifically Independent) している。
- ✦ 現在7つの Research Councilがある。



各Councilの予算について

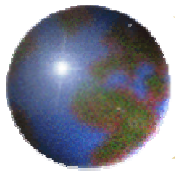
政府からの予算額：2003 - 2004年は£1,892m
(約3800億円)で下記のように配分されている。

| | 予算額(m £)(%) |
|---|-------------|
| Biotechnology and Biological Science Research Council (BBSRC) | 265 (14%) |
| Council for the Central Laboratory of the Research Councils (CCLRC) | 119 (6%) |
| Engineering and Physical Science Research Council (EPSRC) | 469 (25%) |
| Economic and Social Research Council (ESRC) | 95 (5%) |
| <u>Medical Research Council (MRC)</u> 今回の研修の中心 | 430 (23%) |
| Natural Environment Research Council (NERC) | 264 (14%) |
| Particle Physics and Astronomy Research Council (PPARC) | 251 (13%) |
| (Arts and Humanities Research Board/Council (AHRB/AHRC)) | |



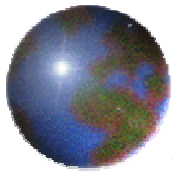
MRC @ Mission

- ✦ To encourage and support high quality research with aim of maintaining & improving human health
- ✦ To train skilled people
- ✦ To advance and disseminate knowledge and technology with the aim of meeting national needs in terms of health, quality of life and economic competitiveness
- ✦ To promote public engagement with medical research



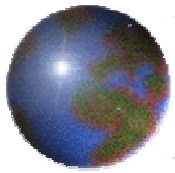
MRCの概要(組織、予算、スタッフ等)

- ❖ **Council**: 政府によって任命された17人で構成される。
(研究者7人(Boardの議長を含む)、政府(Department of Health)3人、産業界3人、法律学者2人、OST1人、MRCのCEO1人。)
- ❖ **職員は約4000人。**(研究所3300人以上を含む)
- ❖ **組織はロンドン中心部にある本部とロンドン郊外及びケンブリッジ等の地方にある研究所から成っている。**
- ❖ **予算**: 年間約£430m(約860億円)
(約半分が所属研究所に配分され、残り半分が本部運営費、研究費、奨学金等に配分されている。)
- ❖ **現在の助成概要**
研究助成: £150m (ポスドク 約3000人の人件費を含む)
Training: £45m (学生£19m、博士課程£26m)



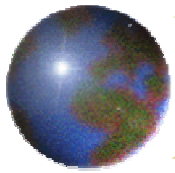
MRCの外観(1)





MRCの外観(2)





研究分野とBoard

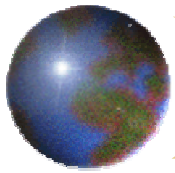
研究は下記の5つの分野に分けられ、それぞれの分野に対してBoard(評価委員会)が設置されている。

各Boardは、15人から20人の委員(大学教授クラス)が任命されている。

また、MRC側もBoard毎に1名のDirectorと約5~6名のProgram Manager(PM)が事務局として配置されている。

今年度採択可能額

| | |
|---|--------------|
| Molecular & Cellular Medicine Board | 23.8 (£ m) |
| Physiological Systems & Clinical Sciences Board | 14.2 |
| Infections & Immunity Board | 15.5 |
| Neurosciences & Mental Health Board | 26.1 |
| Health Services & Public Health Research Board | 16.4 |



審査、課題採択の流れ

◆ 申請について

研究費や奨学金の申請は全て電子的に行われる。年に3回の提出期限。

◆ 評価システム: Peer Review + Board Meeting (評価委員会): 2段階選抜方法。

・Peer Review

Peer Reviewでは、申請研究計画の内容に明るい3名程度の研究者がRefereeとなる。申請者はRefereeを数名推薦でき、MRC側は1名はRefereeに採用しなければならない。Refereeへの金銭的報酬は無い。

Refereeは10段階評価と自分のコメントを作成する。

Refereeの10段階評価、コメントは、Board Meeting前に申請者にFeed backされる。

申請者はRefereeに対するResponseを作成でき、Responseも評価材料となる。

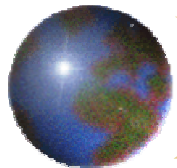
・Board Meeting

開催期間は1回のMeetingにつき2日間(朝から夕方まで)。

2名の委員が申請書、Refereeの評価・コメント、申請者からのResponseについて発表。

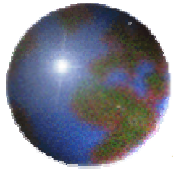
全員で検討を加え、最終的には全員がスコア(1~6、0.5刻み)付けをする。

これにより申請研究計画の順位が決定され、予算の制約の下に採択研究が決定される。



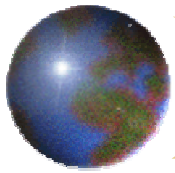
Board Meeting 会場の様子





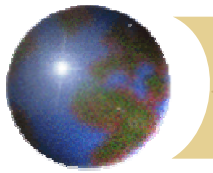
スコア入力用の端末





Board Meeting資料





POの役割

✦ MRCにおけるPO

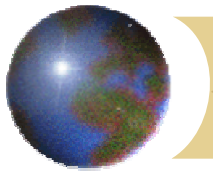
Program Manager(PM)という役職で、Board毎に5人程度配置されており、MRC全体では約30人弱。

(EPSRCではやや異なったシステムを持っており、PO(約15名)とPM(約60名)がゆるやかな上下関係にある。)

✦ PMの役割

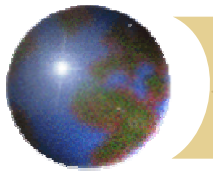
- ・研究者からの事前相談受付
- ・研究申請受付
- ・ピア・レビュープロセスの実施
- ・Board Meetingのための資料作成
- ・評価結果通知
- ・担当した研究の進捗状況管理
- ・内外の研究動向の把握

* 1回のBoard Meetingで担当する研究本数は8～10本程度。
このうち1～3割が採択となる。



PMのキャリアパスについて

- PMの多くは、博士号を取った後ポスドクとして4～5年研究歴を積んでから採用される。公募・面接を経て採用となる。
- MRCではPMの給与レベルはBand 3(1～6まであり日本で言う級に相当。数字が若いほど高額)。年収7～8百万程度。その後勤務年数に応じ、増額。
- 採用後は研修を経て、まず自分の専門外の分野のPMとして配置される。その後2～3年で分野を横断する形で異動となる。
- 長い人で10年～15年間PMとして働く、短い人は4～5年で再び研究の世界に戻る人もいる。Board Managerへの昇進(Promotion)は狭き門。



会計システムについて(1)

❖ 繰り越しについて

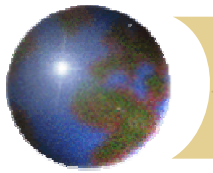
MRC自体は単年度会計ではあるが、予算の10%の範囲は繰り越し可能。

配分された研究費についても同様。

❖ MRCは毎年、予算5カ年計画を立て、政府の承認を得ることとなっている。

❖ また、特別に配分された予算についても当該会計年度に全額を執行する必要はない。

(例) 英国政府からStem Cellの研究にMRCを通じて£26m配分することが公約となっている。MRCは2年間でこの金額を受領しているが、実際の研究への配分に当たっては5年間かけることとしている。このような方針を政府所管部局も承認している。



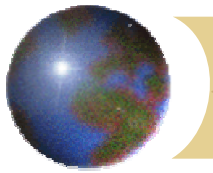
会計システムについて(2)

- 研究採択の際の予算計算方法。

例: Board Meetingに割り当てられた予算 £ 1 m (約2億円)

5年間で£ 0.4 m (約8千万円)の研究費を採択した場合、研究の総額£ 0.4 mを£ 1 mから控除し、残りの£ 0.6 m (約1億2千万円)が本Meetingで他の研究採択に割り当て可能な予算となる。また、研究者所属機関に対しては毎年平均した金額を交付するのではなく、研究計画に沿った交付を行う。

- 研究者所属機関には3ヶ月毎の研究費交付を行い、最後の支払いのみ最終報告書提出後となる。



MRCまとめ

- ❖ MRCへの申請は全て電子化されている。
- ❖ Peer Reviewの段階で非常に公平で透明な評価システムが導入されている。
- ❖ 反面、申請から研究費の獲得、研究の実施までに、長い場合は1年以上かかる場合もある。
- ❖ Program managerはほぼ全員PhDを持ち、数年以上の研究歴を有している。
- ❖ Program managerはMRCの政策立案に積極的に携わるよりはむしろ、担当した分野の研究を丁寧に評価、助言するという職務が主である印象。
- ❖ 研究を遂行するに当たって、研究者にとって非常に会計システムが確立されている。